



令和5年度町勢功労者表彰

地方自治功労



青山 慶年さん
(14区 76歳)

平成11年4月に町統計調査員となり、令和5年3月までの通算24年で、国勢調査や農林業センサスなど各種統計調査に17回従事しました。町統計調査員協議会副会長も務め、統計思想の普及、会員の資質向上に多大に貢献しました。

消防功労



鈴木 勉さん
(13区 71歳)

昭和50年4月に町消防団員となり、班長を経て平成19年4月から24年3月まで第1分団長を務めました。36年にわたり、常に職責を自覚して消防業務を推進し、地域住民の信頼と期待に応え、消防一筋に歩みましました。

消防功労



石川 文士良さん
(15区 71歳)

昭和59年4月に町消防団員となり、班長を経て平成25年4月から30年3月まで第9分団長を務めました。34年にわたり、災害から町民の生命や身体、財産を守るという防災業務の推進に努め、その任を全うしました。

消防功労



石川 誠喜さん
(18区 71歳)

昭和56年4月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成31年4月から令和3年3月まで第8分団長を務めました。39年にわたり、旺盛な責任感と郷土愛護の精神に燃え、消防の役割を理解し、困難な消防業務に精進しました。

消防功労



葛西 菊夫さん
(15区 71歳)

昭和61年4月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成30年4月から令和2年3月まで第9分団長を務めました。33年にわたり、時代の要請に基づく消防の役割を理解するとともに、困難な消防業務に精進しました。

令和5年度の町勢功労者に、地方自治功労1人、消防功労10人の合わせて11人が選ばれました。表彰式を11月3日に役場で行い、受賞者をはじめ来賓ら約80人が出席。青木町長は「深甚なる敬意と感謝を申し上げる。地域の指導者として今後ますますの活躍を祈ります」と式辞を述べ、11人に表彰状と記念品を贈りました。受賞者を代表して青山慶年さんは、これまでの活動を振り返り「受賞は個人にだけでなく、統計調査や消防、防災活動の全体にいたったもので、今後も一層精進する。町の発展のため、統計思想の普及や防災意識の向上に努めたい」と語りました。



表彰状を受け取る青山さん(左から2人目)

消防功労



千葉 勝美さん
(15区 71歳)

昭和57年2月に町消防団員となり、班長を経て平成23年4月から25年3月まで第9分団長を務めました。31年にわたり、常に職責を自覚し、防火思想の普及や団員の資質向上など、消防業務の推進に尽力しました。

消防功労



佐藤 謙一さん
(6区 71歳)

昭和57年4月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成29年4月から令和3年3月まで第4分団長を務めました。38年にわたり、地域の防火、防災思想の徹底を図るとともに、地域の消防、防災活動に努めました。

消防功労



千葉 正行さん
(18区 70歳)

昭和49年4月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成27年4月から29年3月まで第8分団長を務めました。43年にわたって、常に消防力の向上や団員の団結、融和を図るとともに、地域の防災に貢献しました。

消防功労



石神 保巳さん
(3区 70歳)

昭和54年10月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成27年4月から31年3月まで第6分団長を務めました。39年にわたり、団員としての職務を認識し、地域の防火、防災思想の向上を図り、団員の資質の向上に尽力しました。

消防功労



千葉 勇夫さん
(7区 70歳)

昭和50年から町消防団員を48年務め、副団長などを経て平成31年4月から令和5年3月まで団長を務めました。防火思想の普及や訓練の実施など、消防組織の効果的な使命達成に専念し、地域の信頼と期待に応え、消防業務に精進しました。

消防功労



吉田 正夫さん
(1区 70歳)

昭和56年4月に町消防団員となり、副分団長などを経て平成28年4月から30年3月まで第2分団長を務めました。37年にわたり勤務に精励し、常に消防施設の整備拡充に尽力するなど、地域の消防、防災活動に尽力しました。